أساليب الحياة اليومية وطرق تنقل الناس وتبادل السلع في العالم الإسلامي من خلال المواد البحثية لجامعة واسيدا

イスラーム世界の暮らしとヒト・モノの交流

―早稲田大学の研究資料から―



フスタート遺跡出土遺物
（7～15世紀頃）

本庄早稲田の杜ミュージアム

2026 11/7(土)～12/26(土)

9:00-16:30

休館日: 月曜日(休日の場合は翌日)

主催　文化企画課考古資料館
　　早稲田大学本庄の杜ミュージアム
共催　古代オリエント博物館
協力　サウジアラビア文化遺産庁
　　サウジアラビア大使館
　　早稲田大学ユネスコ世界遺産研究所
支援　公益財団法人カメイ社会教育振興財団

入場無料

هيئة التراث
Heritage Commission

WASEDA University

本庄早稲田の杜ミュージアム
HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM

早稲田大学とイスラーム考古学研究の関りは、文学部東洋史学科の松田壽男教授のもとで学術雑誌『イスラム世界』の績集が始まった1963年に遡ると言えるかもしれません。松田教授の研究の影響を受けた教員・学生が東方イスラーム圏（イラン～アフガニスタン～パキスタン）で現地調査を行いました。また1978年に早稲田大学によって開始され（後に出光美術館との合同調査）、1985年から中近東文化センターに引き継がれたエジプト・フスタート遺跡の発掘調査では、初期イスラーム時代から中世にわたる商業の中心地の研究が行われました。さらに2018年からは、サウジアラビアの紅海沿岸の港町を経由して後背のアラビア半島の砂漠・山間を移動したヒトやモノの経路を追う研究が始まっています。本展示はそれらの研究のもととなった考古資料を中心に、イスラーム世界の暮らしとヒト・モノの交流を分り易く展示して、イスラーム理解の場としつつ、早稲田大学の学術活動を振り返る企画です。



イラン
・ザーヒドゥーン遺跡



フスタート遺跡出土
カット装飾ガラス瓶
（10～11世紀頃）



フスタート遺跡発掘風景

特別講演会

「サウジアラビア考古学の現在」

講師：徳永里砂氏
（サウジアラビア文化遺産庁顧問）

هيئة التراث Heritage Commission

日時：12月19日（土）13:30～15:00

会場：本庄早稲田の杜ミュージアム
（早稲田大学本庄キャンパス93号館）3階レクチャールーム1

定員：100名（事前申込制）　受講料：無料



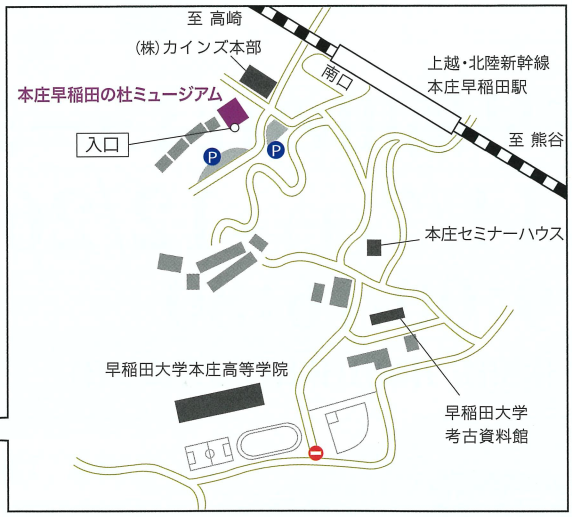
サウジアラビア・
ハウラー遺跡

本庄早稲田の杜ミュージアム
HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL：0495-71-6878　https://www.hwmm.jp/
ご来館の際には、最新の開館日程・時間をご確認ください。



［アクセス］
■JR上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅より徒歩3分
■JR高崎線 本庄駅南口から はにぽんシャトル（所要時間13分）
「本庄早稲田駅北口」下車徒歩5分 または 本庄南口からタクシー10分
■関越自動車道 本庄児玉ICから5分　無料駐車場あり



早稲田大学考古資料館　Mail：wasedakouko@list.waseda.jp　Web：https://www.waseda.jp/culture
本企画展は、寄付者の皆様から「早稲田文化募金」を通じてご支援を受けています。　Web：http://waseda.jp/contribution/w_culture